A vertical decorative element on the left side of the slide, consisting of a light gray grid with scattered colored squares in orange, green, and blue.

2019年12月期 決算説明会

2020年2月27日

株式会社C&Gシステムズ
東証二部:6633



目次

1. 会社概要	… 3
2. 2019年12月期 決算概要	…12
3. 中長期事業方針	…19
4. 2020年12月期 通期業績見通し	…29
5. 株主還元について	…32

1. 会社概要

会社概要

■ 会社概要

商号	株式会社C & Gシステムズ(6633)
主力事業	金型向けCAD/CAMシステムの 開発・販売・サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 (2019年度実績)	売上高：41億97百万円 営業利益：3億9百万円
事業所	国内6拠点 (東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国 [金型製造]) 海外総代理店3社(韓国/中国/台湾)
連結社員数	248名

■ 国内外ネットワーク

【東アジア】
(各国代理店)

韓国: IGPNET社
中国: Shanghai C.J
System
Technology社
台湾: Createwell社

【アセアン】

タイ: CGS ASIA(子会社)
インドネシア
テクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシアテクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部

【北米】

カナダ:
CGS CANADA
(子会社)

【金型製造事業】

アメリカ:
Tritech
International, LLC



東京本社



北九州本社



沿革

	旧コンピュータエンジニアリング(CE)社	旧グラフィックプロダクツ(GP)社
1978年	CE社の前身である株式会社西部周防 設立(1983年「コンピュータエンジニア リング株式会社」に商号変更)	
1981年		GP社設立
1997年		GP社株式店頭(現・東証JASDAQ市場)上場
2007年	CE社およびGP社による共同持株会社 アルファホールディングス株式会社(α HD: 当社)設立	
2010年	CE社およびGP社を α HDに吸収合併、 同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行	
2017年	東証JASDAQ市場から東証二部に市場変更	

社是、経営理念および成長戦略テーマ

- 社是 「生産性の限界に挑戦する」
- 経営理念 「技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」
- 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」
「金型等の製造支援CAD/CAM」というニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す



回復を見せる「国内市場」におけるトップ企業

Ⅱ

製造支援CAD/CAM市場におけるトップ企業

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内:6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機
三光合成 三菱重工 マツダ 深江製作所 三井ハイテック 高城精機 エスバンス
パナソニック オムロン シマノ がまかつ CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機
岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気 ホンダエンジニアリング
アルプス電気 ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外:1,000事業所

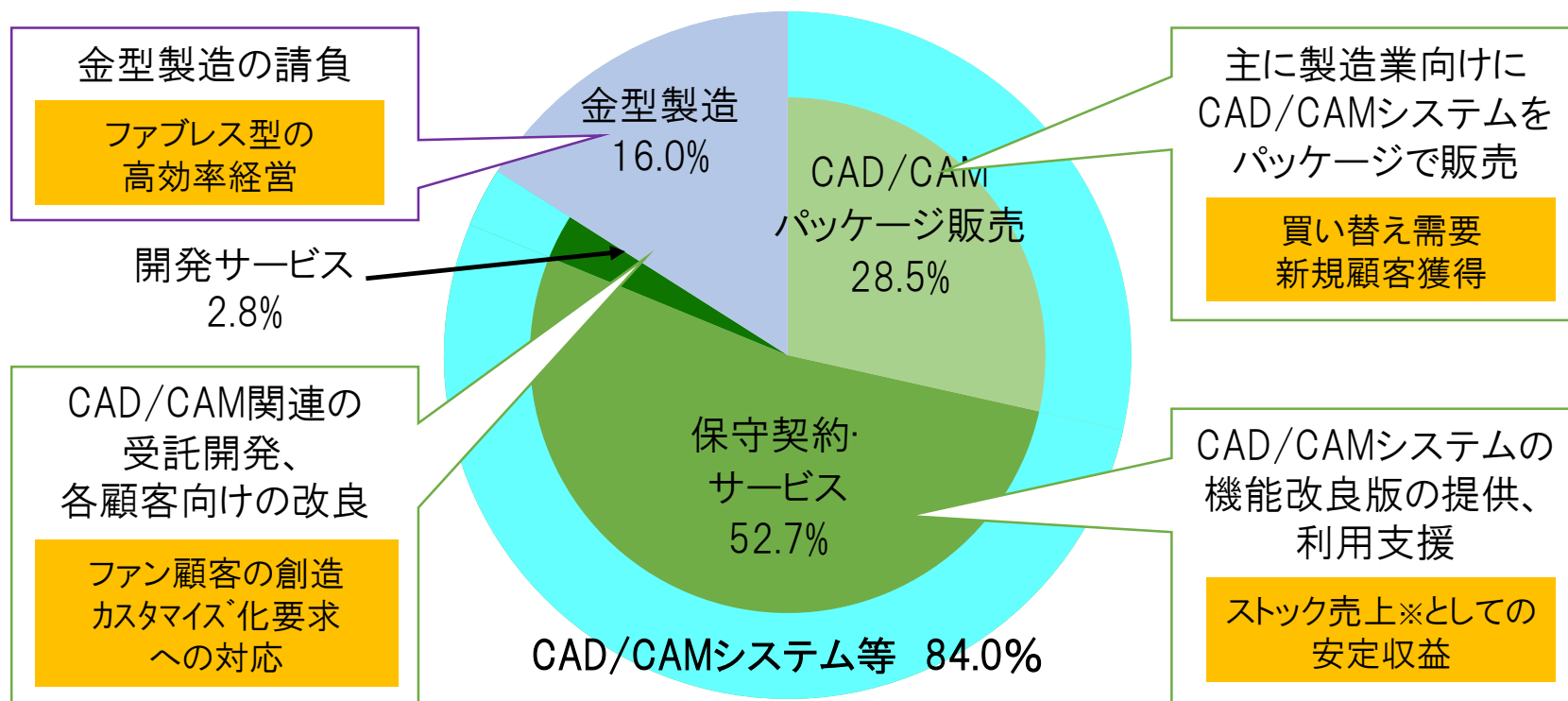
LG電子 サムソン電子 現代自動車
DOOSAN機械 FOXCONN
teleflex Medical 友達光電 AMTEK

…その他多数

事業セグメント

主力事業：金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

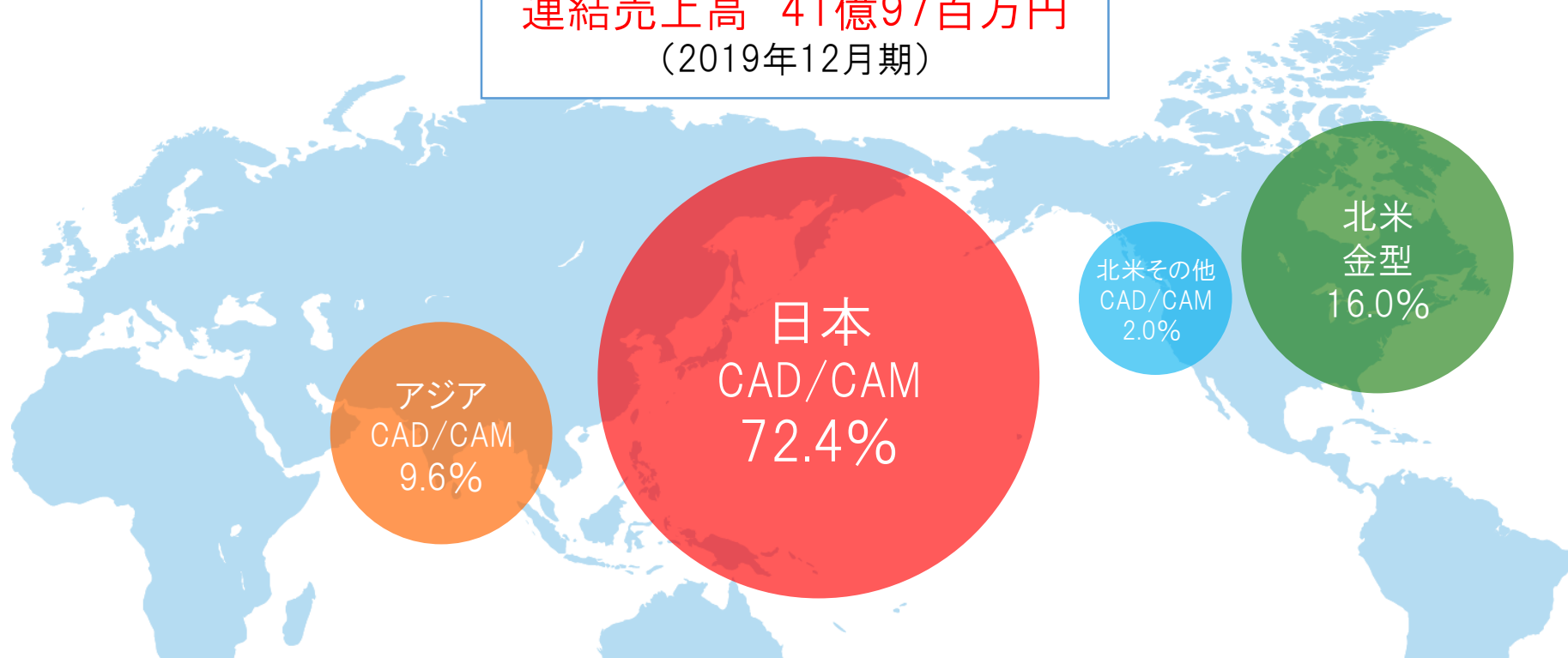
【2019年度連結売上高：41億97百万円】





地域別(仕向地別)売上高

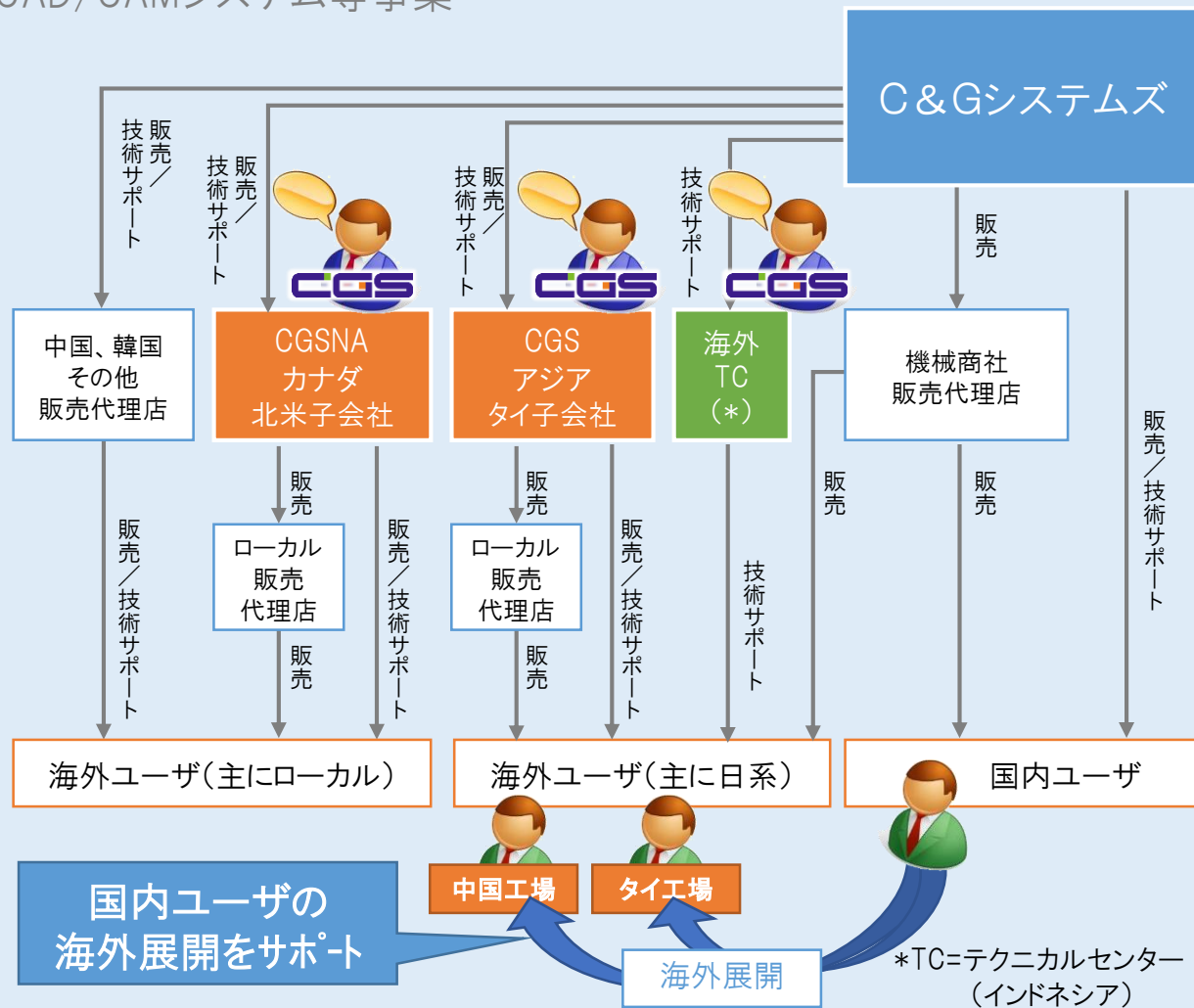
連結売上高 41億97百万円
(2019年12月期)



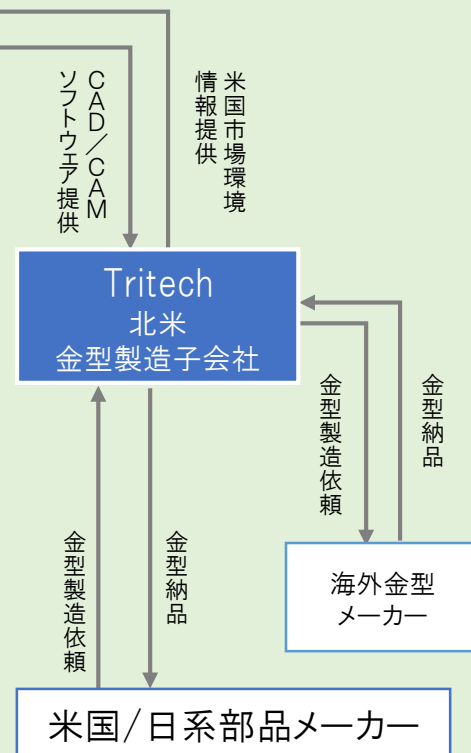
- 海外販売割合(仕向地別)は27.6%
- CAD/CAMシステム販売については海外進出した日系企業への販売が中心
⇒ 今後は海外ローカル企業への販売を強化

事業系統図

CAD/CAMシステム等事業

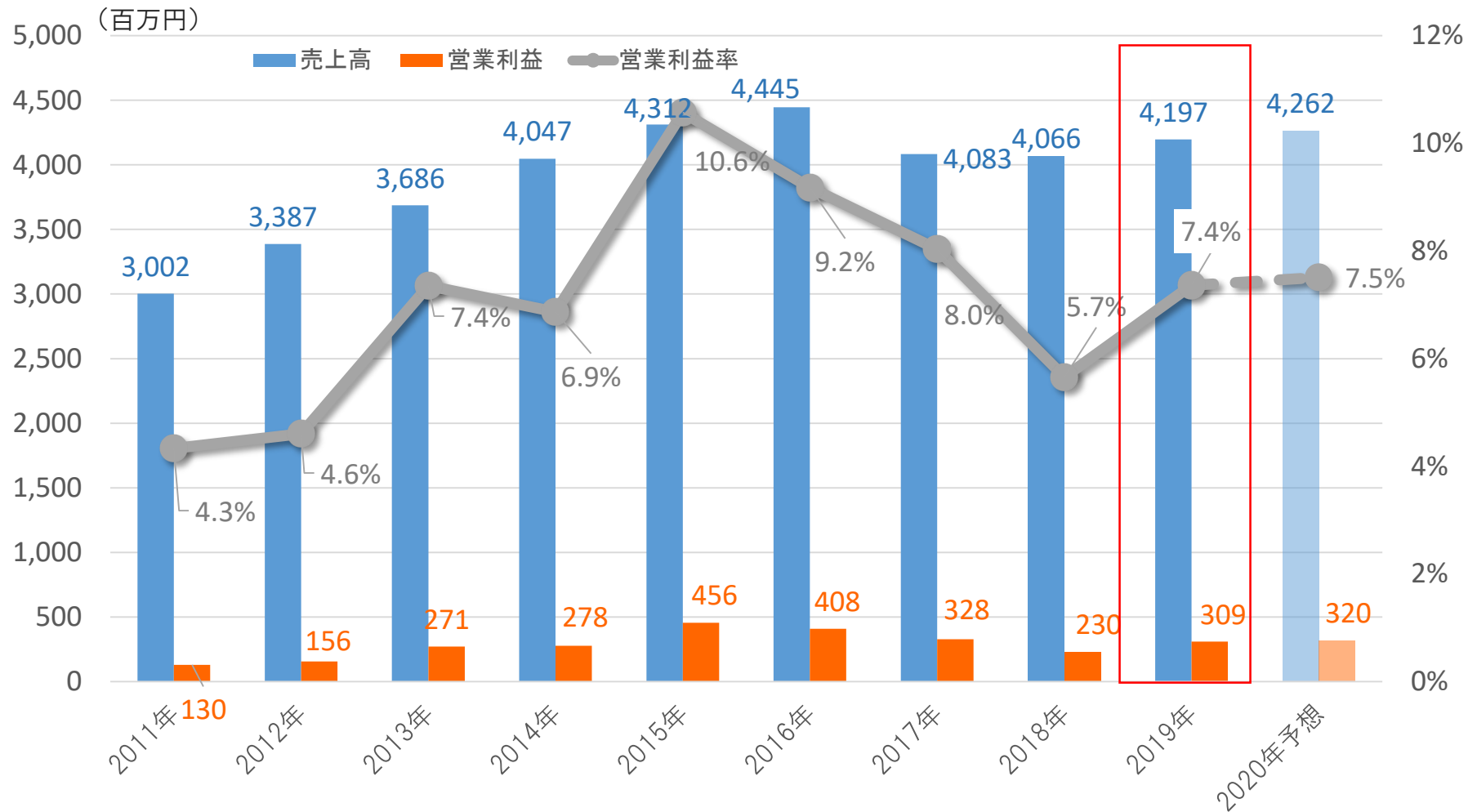


金型製造事業





連結業績の推移



2. 2019年12月期 決算概要

2019年度 決算ハイライト

■ 前期比で増収増益

- ・ 売上高 41億97百万円（前期比 3.2%増）
- ・ 営業利益 3億9百万円（前期比 34.5%増）

■ CAD/CAMシステム等事業

- ・ 売上高・・・前期比で微増
 - ✓ 上半期は政府補助金採択時期の影響を受け国内製品販売が低調に推移
 - ✓ 第3四半期に政府補助金採択案件関連の販売および消費増税前の駆け込み需要により持ち直し、通期では前期実績との比較で微増
- ・ 利益・・・前期比22.3%増加
 - ✓ 開発体制の内製化を強化し、外注費を削減したことによるコスト抑制効果

■ 金型製造事業

- ・ 第2四半期に大きく収益が伸長、下期にかけては低調となったものの、第2四半期業績がこれをカバーし大幅増収増益

業績概要

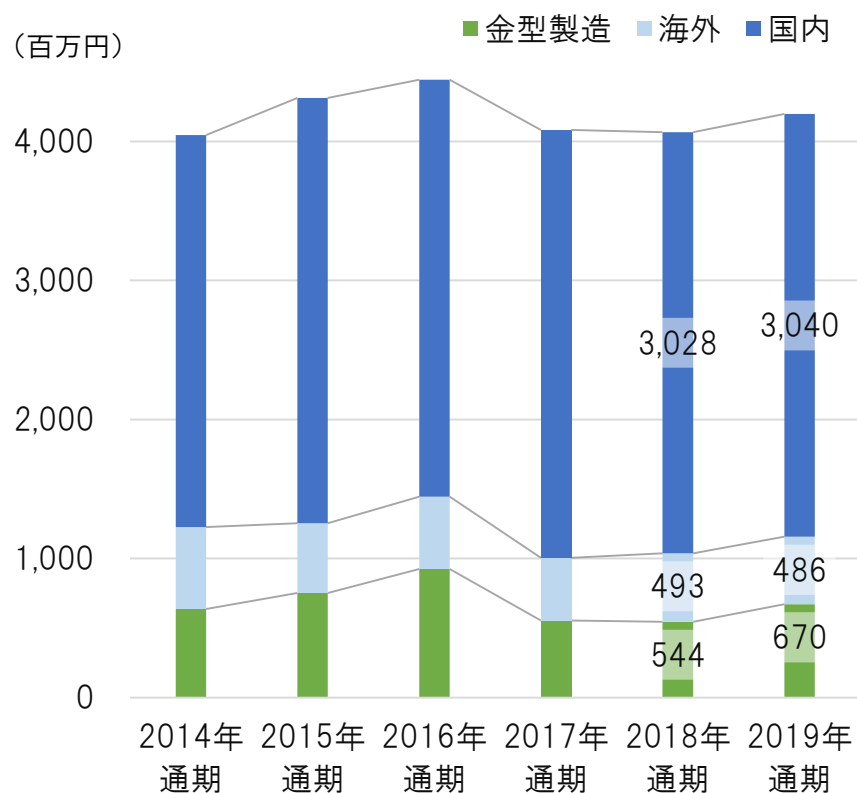
(単位:百万円)

	2019年 実績	構成比	2019年 計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	4,197	100.0%	4,294	△97	△2.3%
営業利益	309	7.4%	304	+4	+1.6%
経常利益	329	7.9%	328	+0	+0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	181	4.3%	185	△4	△2.3%

		2018年 期末	2019年 期末
為替レート	ドル	111.00円	109.56円
	パーツ	3.41円	3.63円
	カナダドル	81.52円	83.79円

	2018年 実績	前年同期比	
		増減額	増減率
	4,066	+130	+3.2%
	230	+79	+34.5%
	252	+76	+30.5%
	121	+60	+49.9%

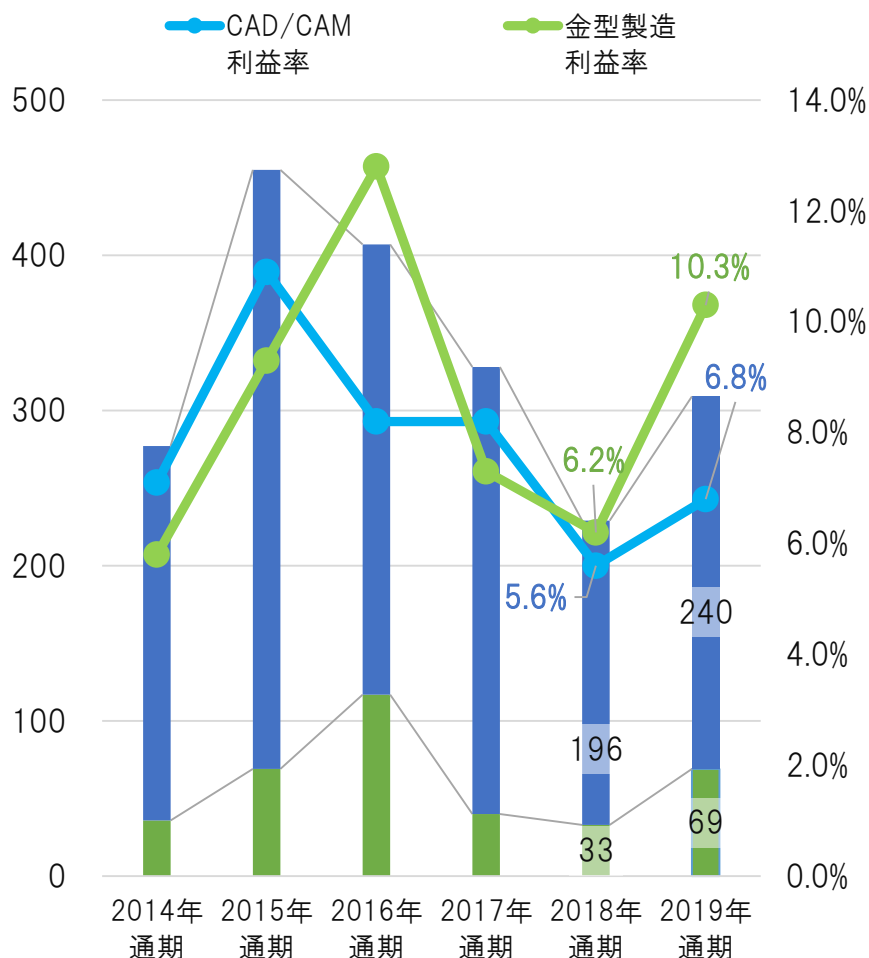
事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)



売上高 (百万円)	2018年 通期	2019年 通期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	3,522	3,527	84.0%	+5	+0.1%
国内	3,028	3,040	72.4%	+11	+0.4%
海外	493	486	11.6%	△6	△1.4%
金型製造	544	670	16.0%	+125	+23.0%
合計	4,066	4,197	100%	+130	+3.2%

事業セグメント別利益の推移

(百万円) ■ CAD/CAMシステム等 ■ 金型製造

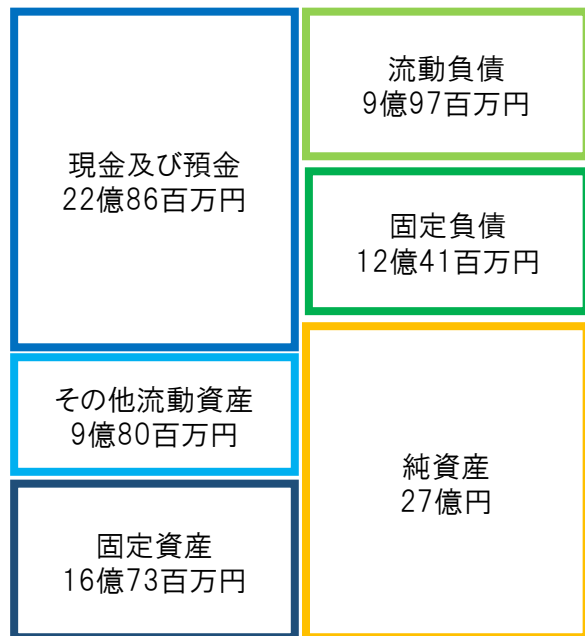


科目 (百万円)	2018年 通期 【実績】	2019年 通期 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	3,522	3,527	+5	+0.1%
営業利益	196	240	+43	+22.3%
営業利益率	5.6%	6.8%		
金型製造				
売上高	544	670	+125	+23.0%
営業利益	33	69	+35	+105.7%
営業利益率	6.2%	10.3%		
合計				
売上高	4,066	4,197	+130	+3.2%
営業利益	230	309	+79	+34.5%
営業利益率	5.7%	7.4%		

財務状況

■ 自己資本比率51.2%

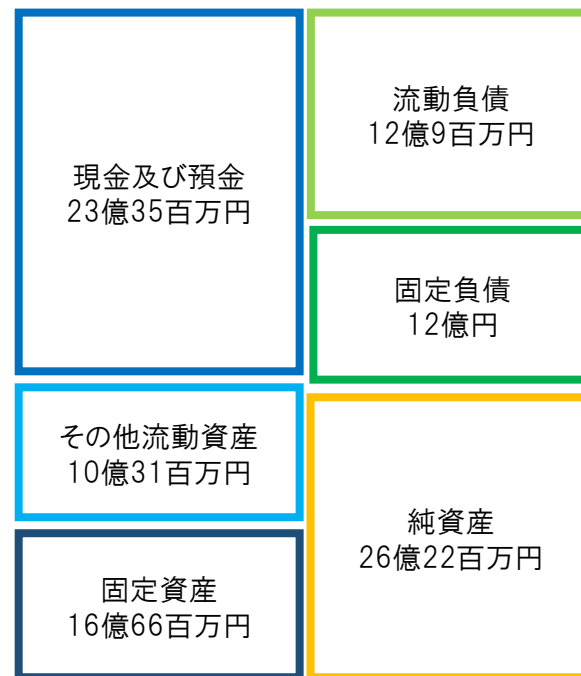
【2018年12月期 期末】



総資本合計 49億39百万円

自己資本比率 53.9 %

【2019年12月期 期末】



総資本合計 50億33百万円

自己資本比率 51.2%

主な要因

資産: +94百万円 ⇒ 現金及び預金+48百万円、受取手形及び売掛金+21百万円

負債: +1億71百万円 ⇒ 未払法人税等+78百万円、退職給付に係る負債+59百万円

キャッシュ・フロー計算書

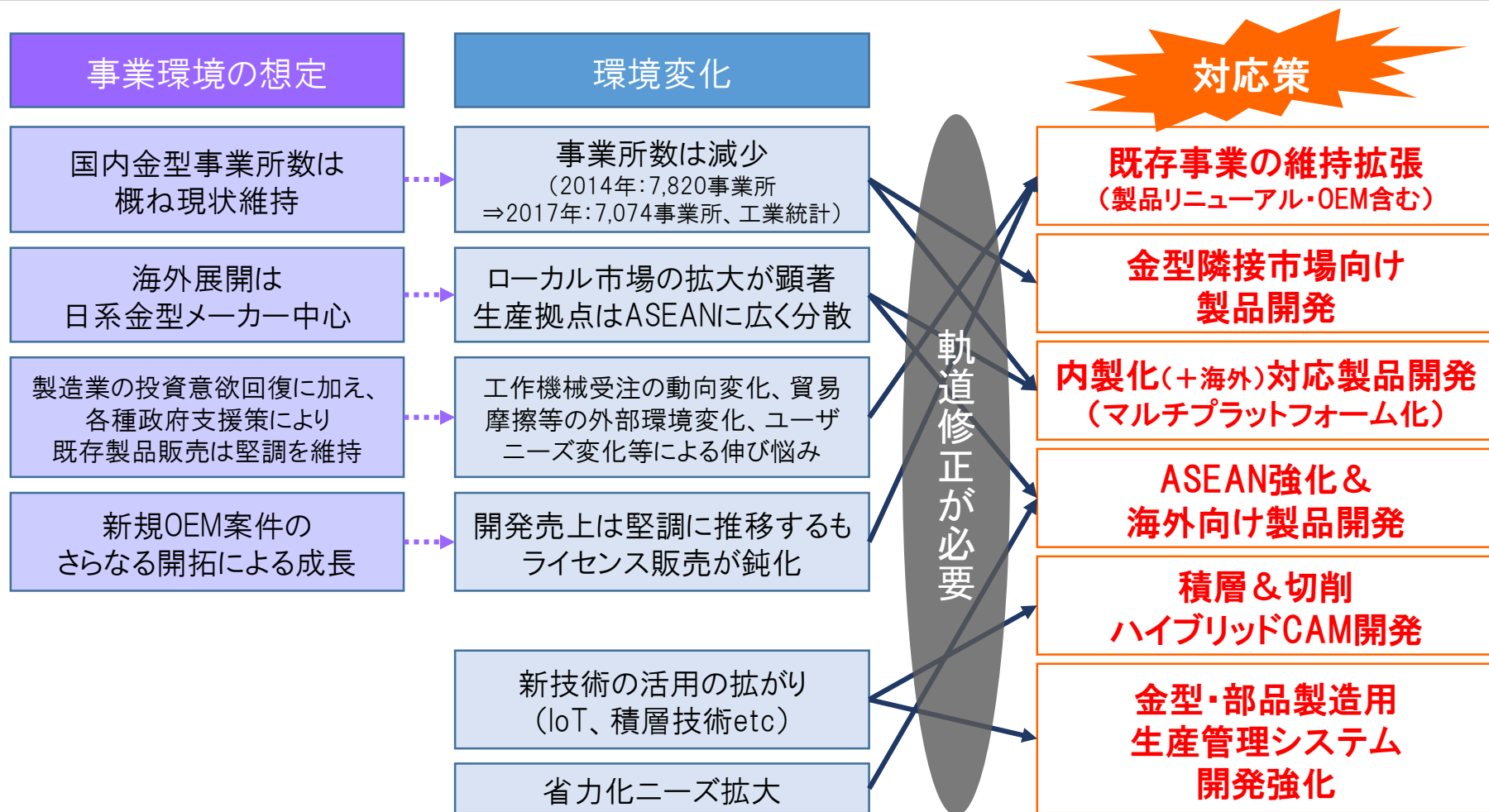
(単位:百万円)

	2018年 通期	2019年 通期	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	163	363	- 税金等調整前当期純利益3億29百万円 :各事業の利益貢献 - その他の主な内訳:減価償却費50百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△70	△88	(減少)有形固定資産の取得68百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△44	△241	(減少)配当金の支払額1億22百万円 (減少)自己株式の取得による支出1億17百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△0	
現金及び現金同等物の増減額	39	33	
現金及び現金同等物の期首残高	2,136	2,176	
現金及び現金同等物の期末残高	2,176	2,209	
フリーキャッシュフロー	92	274	

※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

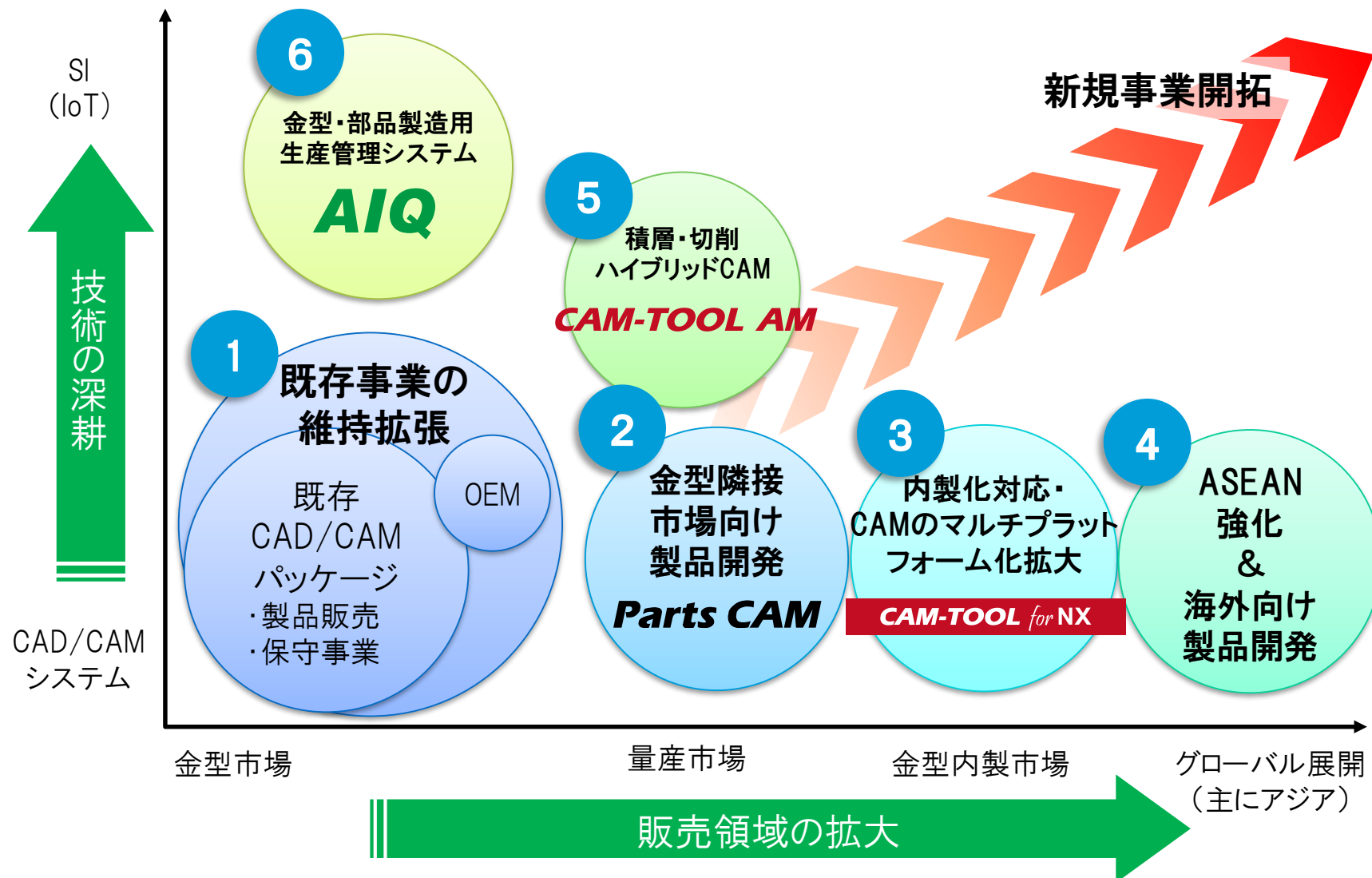
3. 中長期事業方針

事業環境変化と基本成長戦略の軌道修正

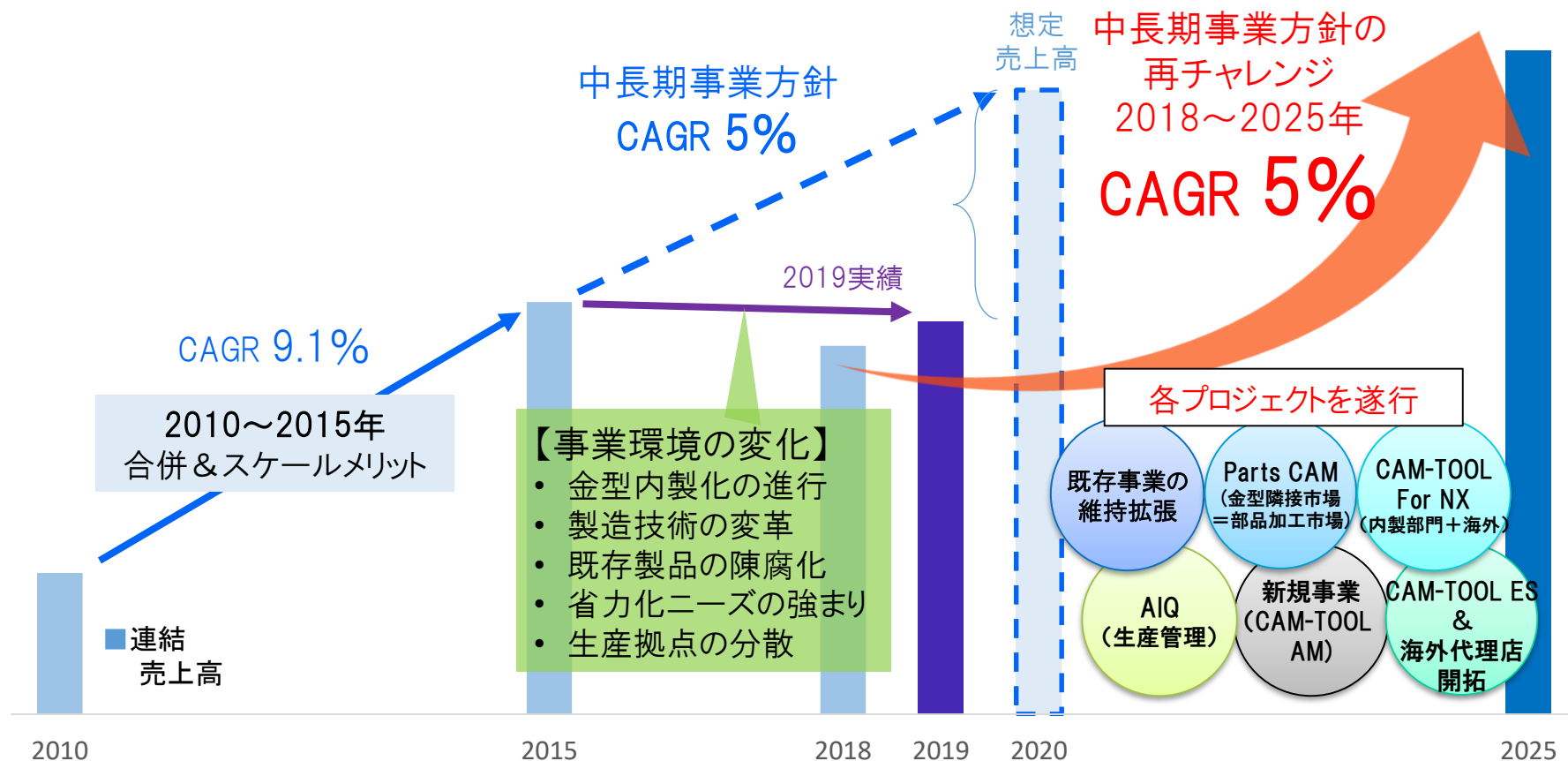


新たな基本成長戦略は2019年から推進体制スタート

基本成長戦略の骨子



中長期事業方針の再チャレンジ



2018年の水準から
2025年に向けて
再チャレンジ

2018～2025年 CAGR
5%

2025年 経常利益率
20%以上

2025年 ROE
15%以上

① 既存事業の維持拡張

既存事業の維持拡張

営業体制強化

- 日本および海外の日系企業を中心とした展開
- ✓ シェアのさらなる拡大
 - …競合製品から当社製品への切替え促進
 - …販売代理店、生産財メーカーとの連携によるチャネル確保
- ✓ 保守契約率の維持・向上
 - …経営のベースカーゴである保守収益の維持・向上により安定収益を確保

現在の推進体制を継続

開発体制強化

- 主力製品のリニューアルを実施
- ✓ 内部構造の刷新
 - …さらなるバージョンアップに対応していくため内部構造を刷新
- ✓ 操作性の改良による製品競争力の向上
 - …有効な機能をさらに使いやすく改良
- ✓ カスタマイズしやすさの向上
 - …専用CAMの受託開発への対応を容易に

2019年より開発に着手
本年度も開発を継続

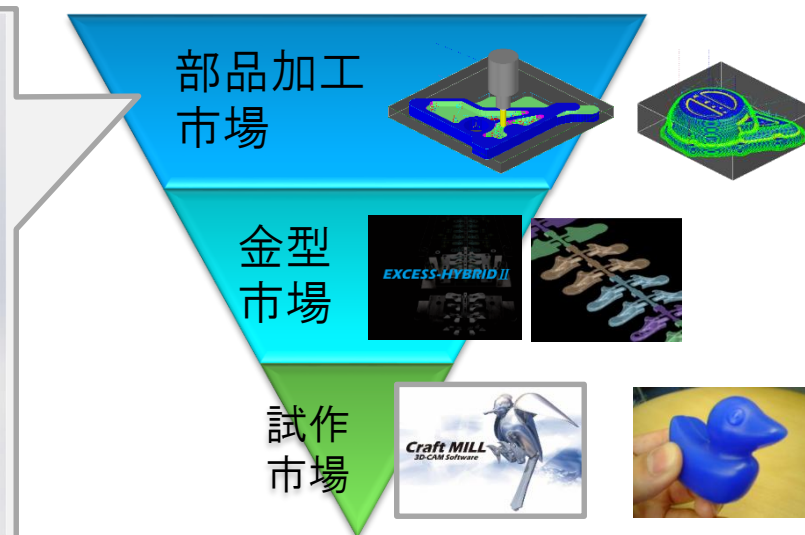
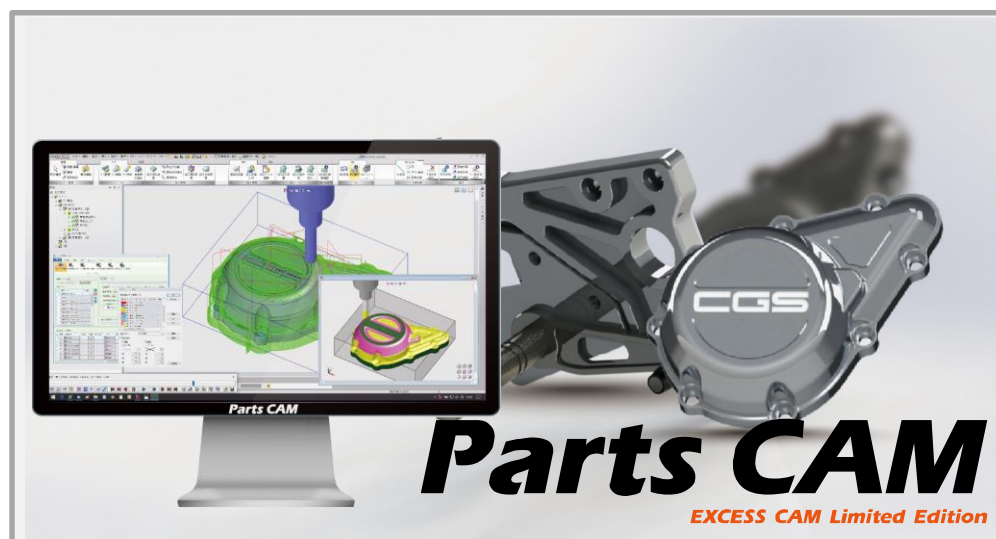
② 金型隣接市場向け製品開発

隣接市場向け製品展開

□ 現有資産の有効活用

・・・ 金型市場の深掘りを推進⇒部品加工市場、量産市場など新規市場開拓

※市場サイズイメージ



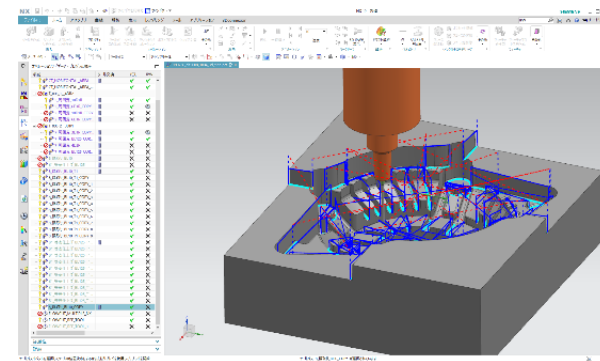
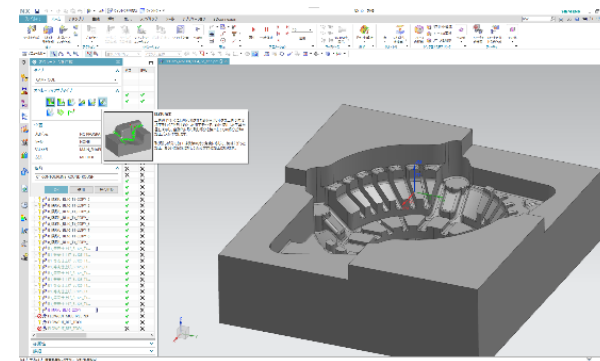
- 2019年～ 開発を継続。11月より先行販売を開始、「MECT2019」にて初展示
- 本格販売を2020年2月から開始

③ CAMのマルチプラットフォーム化拡大

CAM-TOOL for NX

～米シーメンス デジタルインダストリーズソフトウェア社「NX」への当社「CAM-TOOL」の搭載～

- ❑ 自動車メーカー・サプライヤーの基幹CADとして活用されている「NX」
…TIER1 部品メーカーも追随し利用拡大の動き
- ❑ 「NX CAM」の機能を「CAM-TOOL」で補完
…製品設計から金型加工まで統合された最適なシステム環境を構築

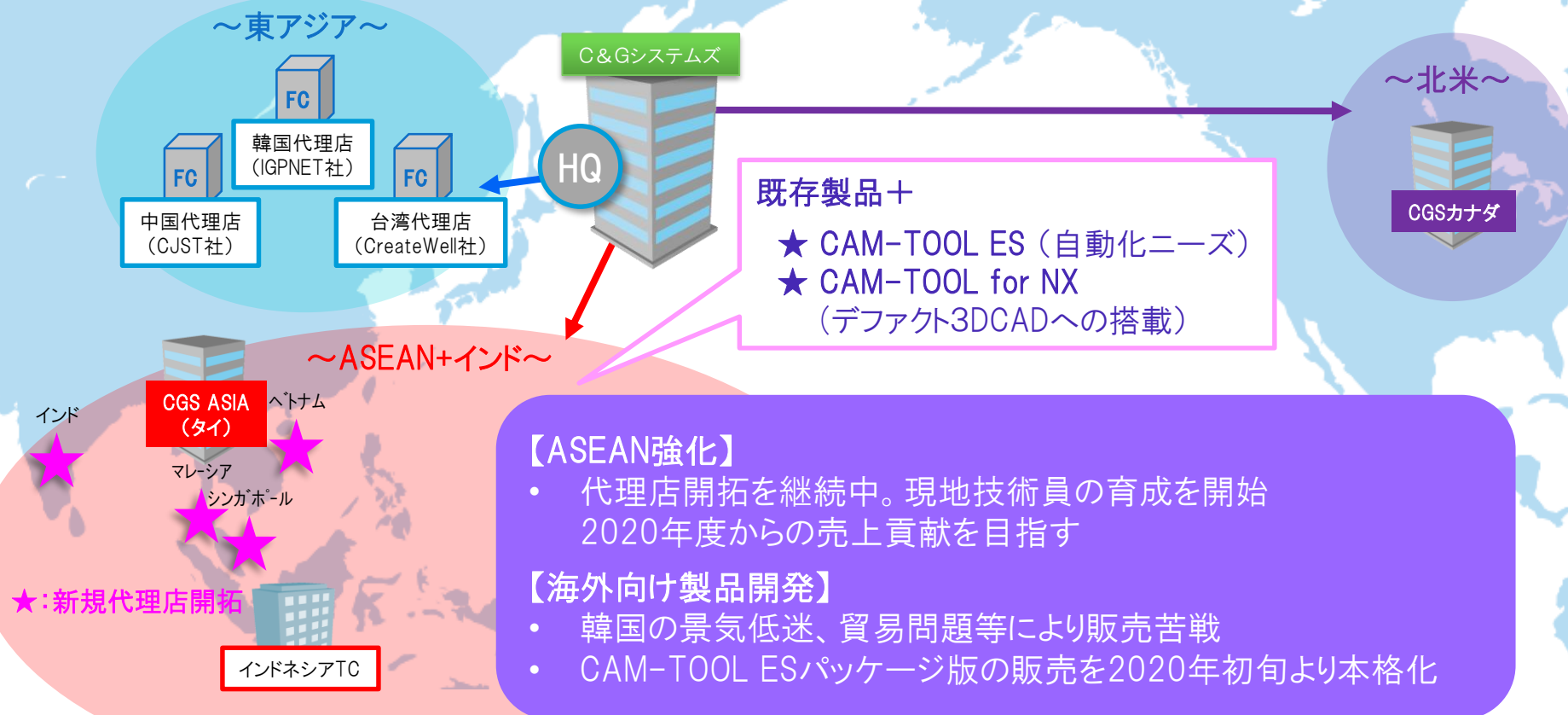


- 2019年～ 開発を継続
- 2020年1月より株式会社電通国際情報サービス様を販売代理店として国内販売を開始
- 海外向けは2020年下期より販売網整備開始

当社はSiemens Digital Industries Software Inc.のソフトウェア&テクノロジー・パートナーです。
NXは米国およびその他の国におけるSiemens Digital Industries Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

④ ASEAN強化 & 海外向け製品開発

ASEAN強化 & 海外向け製品



当社はSiemens Product Lifecycle Management Software Inc.のソフトウェア&テクノロジー・パートナーです。
NXは米国およびその他の国におけるSiemens Product Lifecycle Management Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

⑤ 同時5軸AM対応のハイブリッドCAM

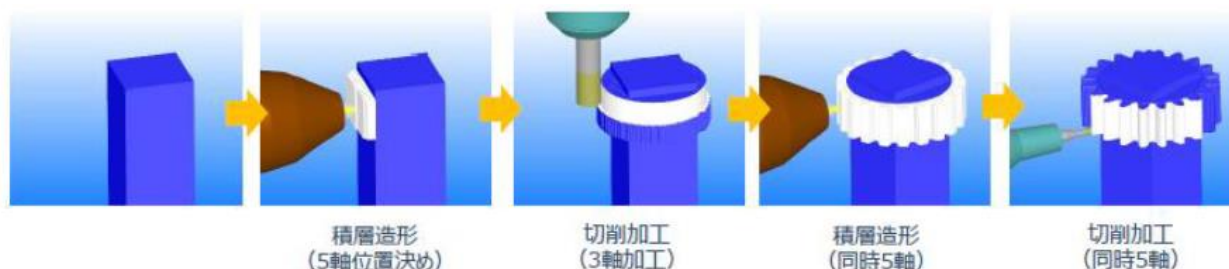
(※)AM=Additive Manufacturing:付加製造

CAM-TOOL AM

～金属または樹脂AM(※)機能を搭載した同時5軸制御対応ハイブリッドCAMシステム～

積層と切削×同時5軸の
自由度の高い
加工工程設計

2種類の造形方式:
国内工作機械
メーカー4社の
AM複合加工機に対応



- ❑ 金属積層用: LMD(Laser Metal Deposition)方式
- ❑ 樹脂積層用: FDM(Fused Deposition Modeling)方式

- 積層造形市場はハード、ソフトともに普及期の前段階
- AM複合加工機メーカーとの協力体制を図り、市場へのAM啓蒙活動を推進

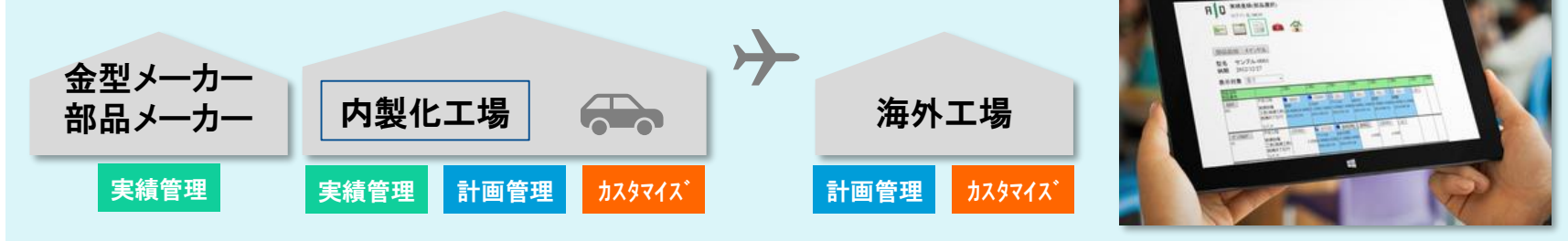
- CAM-TOOL AM(LMD)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業開発機構(NEDO)より技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)が受託した技術開発事業の成果を、株式会社C&G システムズが活用し開発したものです。
- CAM-TOOL AM(LMD)は、株式会社金属積層造形サポートシステムが提供する造形レシピ、熱変形シミュレーションサービスとの連携も可能としています。

⑥「AIQ」の拡充

IoTと連携した金型工程管理システム「AIQ(アイク)」の拡充

■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」

さまざまな企業形態に応じた構成・カスタマイズが可能



大手グループ
企業へ展開



生産管理向け
機能を搭載



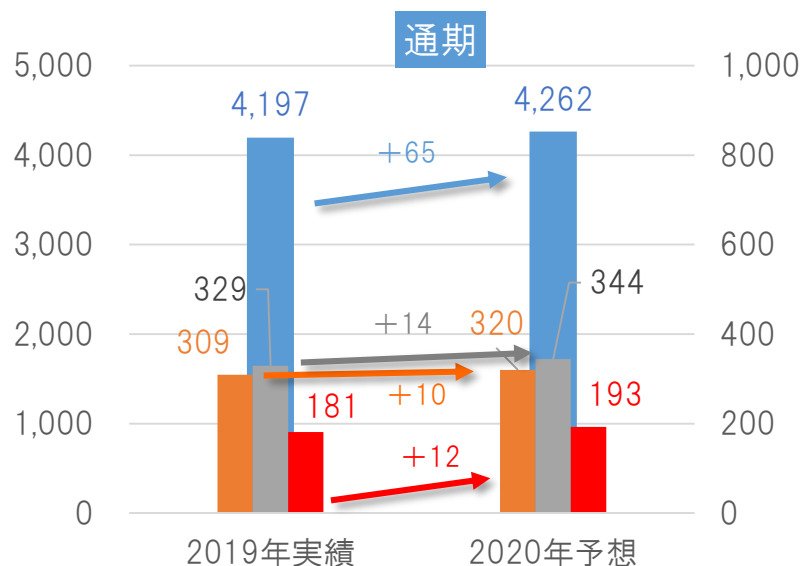
金型製造業以外にも
市場を拡大

- ・ 研究開発は継続するも、販売体制の確立が不十分だったことから販売は低調
- ・ 機能強化に加え、専任営業人材の増員および育成、販売網の拡大、PR活動等に注力し、早期の販売体制確立を目指す

4. 2020年12月期 通期業績見通し

2020年12月期 連結業績予想

通期では増収増益を見込む



(百万円)	19/12期実績	20/12期予想	増減額	増減率
売上高	4,197	4,262	+65	+1.6%
営業利益	309	320	+10	+3.5%
経常利益	329	344	+14	+4.5%
当期純利益(※)	181	193	+12	+6.7%

(※)＝親会社株主に帰属する当期純利益

CAD/CAMシステム等事業:

- 既存ビジネス(主力パッケージ製品販売、保守サポート体制強化)を中核に、各基本戦略の遂行により増収を予想

金型製造事業:

- 新規顧客開拓・外注先との協力体制強化による生産性改善に注力するも、貿易摩擦の影響を懸念、減収予想

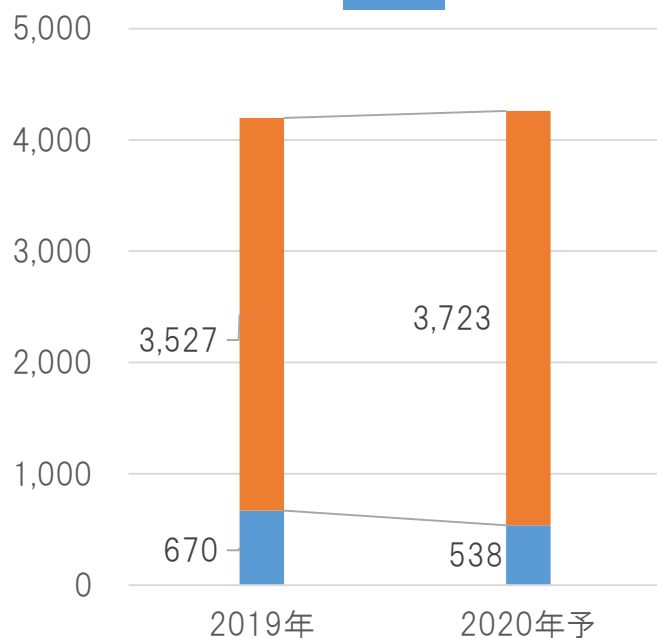
		2019年 期末	2020年度 連結業績予想 想定レート
為替 レート	ドル	109.56円	110.00円
	パーツ	3.63円	3.50円
	カナダドル	83.79円	84.00円



2020年12月期 連結セグメント売上予想

(単位:百万円)

通期

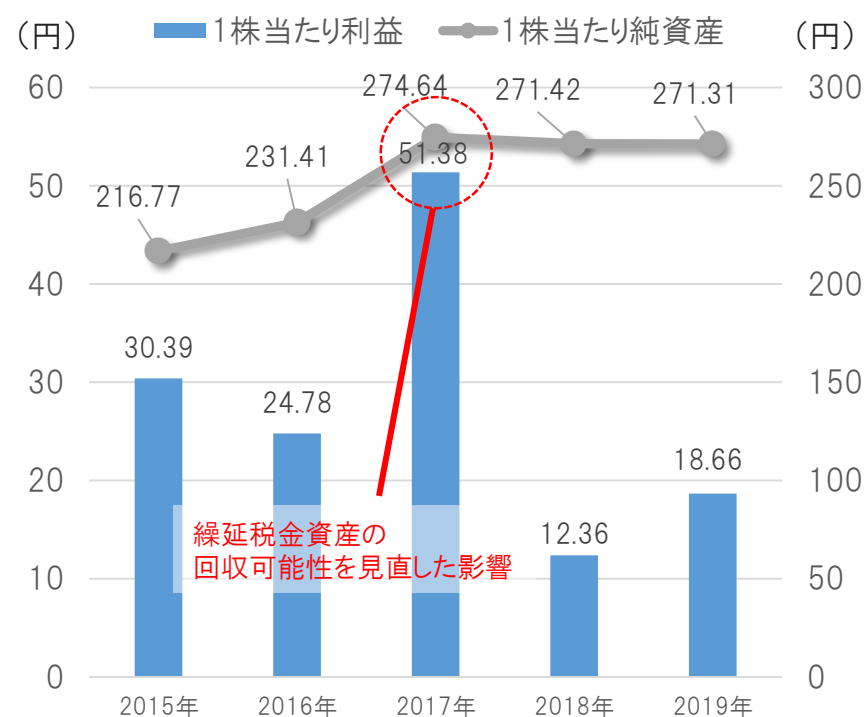
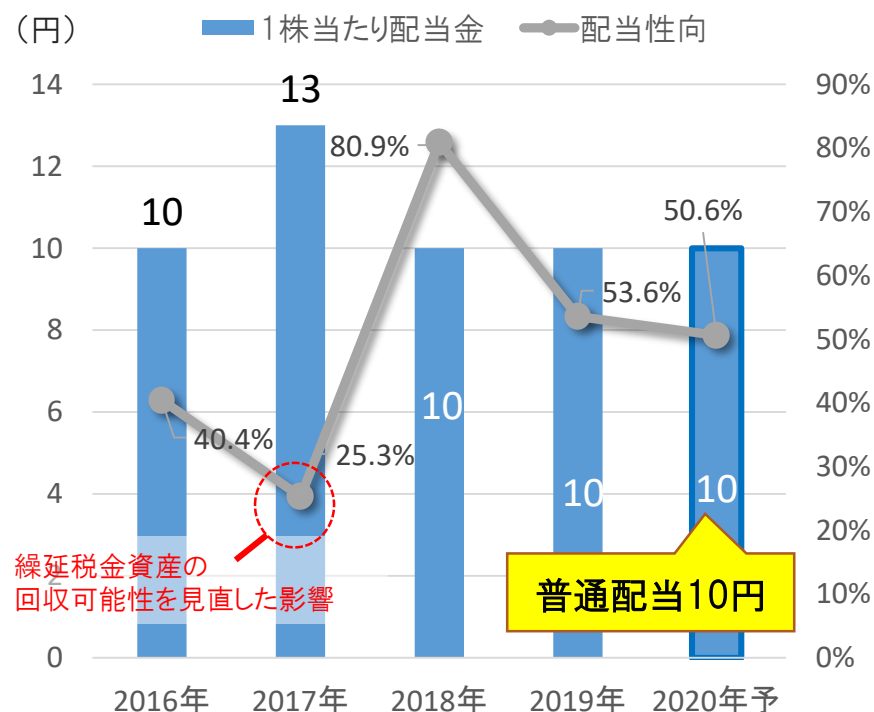


【通期】 (百万円)	19/12期 実績	20/12期 予想	構成比	増減額	増減率
CAD/CAM システム等	3,527	3,723	87.4%	+196	+5.6%
金型製造	670	538	12.6%	△131	△19.6%
合計	4,197	4,262	100.0%	+65	+1.6%

5. 株主還元について

配当について

■ 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す





自己株式の取得について

- 株主還元および機動的な資本政策を可能とするため
自己株式の取得を実施

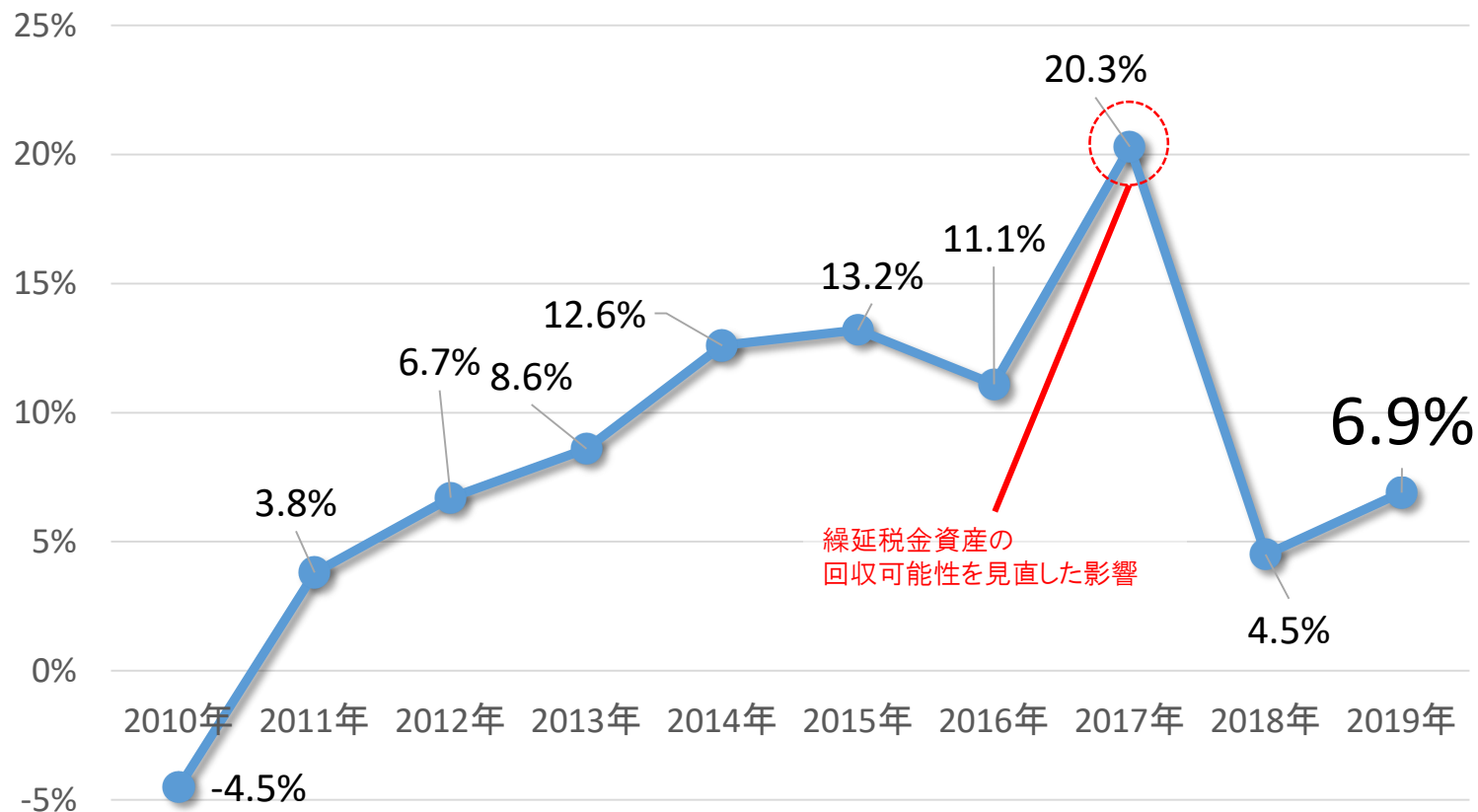
2019年11月14日発表(取得期間:2019年11月15日～2019年11月29日)

取得した株式の総数	200,000株
株式の取得価額の総額	85,030,100円



(ご参考)ROEの推移

- 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す





(ご参考) 専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM＝「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。 製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API＝「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムをすることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC＝「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAMシステム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス／ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
ストック売上	保守契約によるCAD/CAMシステムの利用支援、機能改良版提供の対価として、恒常的な売上が月次または年次で計上される。
○軸	2軸半加工：2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工：XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工：XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（お問合せ先）

株式会社C&Gシステムズ 管理部 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp